

うみなり

海上弘

海に耳を傾ける

小さな巻貝の螺旋に耳を預けるように

海はなぜ あんなにも饒舌なのだろう

それは きつと 海が死者たちで

出来ているからではないだろうか

海はこの星で生まれたありとあらゆる

ものたちの魂で出来ているのではないか

すべてのものは海から生まれ

海へ帰ってゆく だから 海はあんなにも

饒舌なのだ 海はつねに語りかけ

泣き叫び 怒り狂い 荒れ狂う

そこではこの星で生れ落ちたものたちの

あらゆる声が激しく舐している

海はこの星に終わりが来る日まで

彼らの声を奏で続けることだろう

海に耳を傾けながら

たったひとつのことだけを願っていた

もう十年前に海に奪い去られた

わたくしの友だちのことを

いまさら彼を返してほしいなどとは言わない

ただ 一度きりでいい

この海を渡って せめて わたくしの

夢の中へ逢いに来てほしい と

もはや それだけが

わたくしに出来ることだったから